



認知症

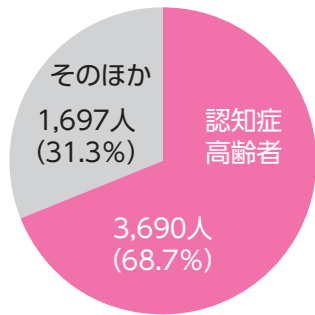
地域で見守り、
地域で支え合うまちに

他人事ではない認知症

認知症とは、様々な原因で脳の働きが悪くなり、記憶力や判断力が低下し、日常生活に支障が出てきている状態を言います。

現在、日本人の65歳以上の4人に1人が認知症またはその予備群であると言われています。また、市内の要

小松市の要支援・要介護認定者における認知症高齢者の割合
(平成29年7月1日時点)



介護等認定者5387人の中で見ると、68・7%が認知症であり、今や認知症は他人事とは言えない時代を迎えています。

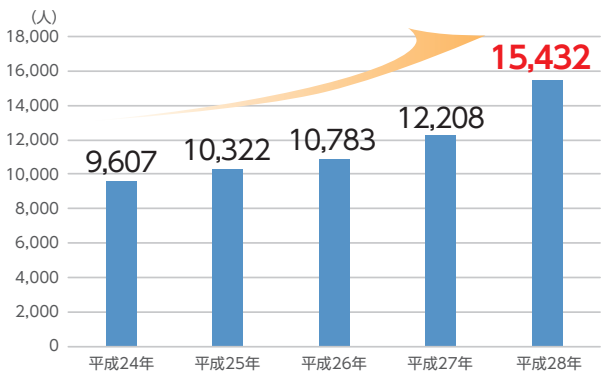
認知症の種類

認知症の種類としては主に3つあり、脳全体が少しずつ萎縮していく「アルツハイマー型認知症」が全体の約半数を占めます。2つ目は、脳梗塞や脳出血など、脳血管の障害によって引き起こされる「脳血管性認知症」。3つ目は、幻視などの症状が現れることがある「レビー小体型認知症」です。

年間1万5千人以上が行方不明に

高齢化が進む中、認知症高齢者数も増え、徘徊による事故などが増えています。平成28年に全国の警察へ認知症が

全国の認知症行方不明者の推移(警察庁)



原因で行方が分からなくなったとして届け出があった人は、前年より26%増え、1万5432人にのぼります。市では、認知症などで行方不明になった場合でも、より早く発見・保護できるよう、様々な取り組みを進めています。

認知症高齢者や
その家族を支える
お役立ちツール



ほっとけんSOSネット
事前登録

行方不明になる可能性のある人の名前や特徴、写真などの情報を事前に登録する取り組みを行っています。実際に行方不明になった場合に協力機関への確かつ迅速な情報提供を行うために、事前登録をお願いします。

対象 ①市内に在住し、認知症などの病気により行方不明になる可能性がある人

費用 無料
登録方法 登録希望者の親族・成年後見人などが「ネットワーク事前登録書」を長寿介護課に提出。登録書は市ホームページからダウンロードできます。

もしものときのために、事前登録をお願いします。



行方不明者搜索模擬訓練

あなたの家族・友人が行方不明になってしまったとき、どのように対応・搜索すればよいのでしょうか。行方不明者搜索模擬訓練は、認知症の人が外出して行方不明になった場合を想定して行われます。市内各地で徐々に取り組みが広がっています。

①声掛け講習会

認知症の人だけでなく、困っている人を見掛けたら、気軽に声を掛け合えるよう練習をします。



②実践(搜索・声掛け)

町内会や地域住民が中心となり、警察、消防などが連携し、各々の役割で搜索活動を開始します。高齢者役の人への声掛けを実践します。



③保護・連絡

無事に発見、保護した後は警察に連絡し、行方不明者の様子や発見場所を正確に伝えます。



どんな人を見掛けたら声掛けをするといいの？

- ・身なりが整っていない
- ・とぼとぼ歩いていたり、辺りを見回したりしている
- ・同じ場所を何回も歩いている
- ・信号を守ることができない など

声を掛けるときのポイント

- ・ゆっくりと近づき、相手の視線に入ってから話し掛ける
- ・目線を合わせ、ゆっくりと穏やかな口調で話し掛ける
- ・まずは「こんにちは」「お寒いですね」などあいさつをして、様子を見る
- ・「何かお困りですか」「大丈夫ですか」などと優しく声を掛ける

行方不明者を発見・保護したときは

- ・すぐに警察などに連絡をする
- ・できる限り複数人で対応し、保護に努める
- ・本人が不安にならないよう落ち着いて対応する

日頃から、ご近所さんなどを気に掛けておくことが、異変を察知する近道となります。お互いに掛け合い、認知症になっても安心して暮らしていけるまちを目指しましょう。

安宅・板津第二高齢者総合相談センター
センター長 宮西 恵さん

訓練をしたことで具体的にどう行動すればよいのか分かり、またその知識を地域で共有できたことは、大変良かったと思います。



東蛭川町民生委員
下出 充子さん

訓練を実践してみたい、興味があるという町内は、各地区の高齢者総合相談センターまたは長寿介護課(☎24・8168)までご相談ください。



カブッキーランドのクッキングスタジオでは 食から学ぶ力と健全な食生活を育みます



「食べる」ということにきちんと向き合う姿勢を子供達に身につけてほしいという思いから、カブッキーランドでは、子供専用のクッキングスタジオを設置します。ABC Cooking Studioが監修するこの施設では、調理を通じて、子供達の「食」に対する関心や感謝の気持ちを育てます。対象は4歳児から小学6年生までで、夜間は大人用の調理スペースとしても利用できます。

カブッキーランド内の 各施設の予約受付中!

現在、「すくすくひろば」「クッキングスタジオ」「カルチャールーム」の予約を受け付けています。受付方法、利用料などの詳細はホームページをご覧ください。



ホームページへ



フェイスブックへ



問い合わせ こども家庭課 ☎24・8175 こまつ賑わいセンター ☎24・8041

国際交流コーナー International City KOMATSU

～国際交流員マルチノのこまつ新発見～

台所で感じる多文化の味 祖国ブラジルの「食」を思い出す



日本には「食欲の秋」という表現がありますね。私の母国ブラジルは熱帯の国で、四季がはっきりしていませんので、そのような表現はありません。いつでもおいしい食材が取れ、どの食事でも量や種類が多く、ブラジル人は皆、年中食欲旺盛です。先日、私はうれしいことに小松とまとスマイルレシピコンテストの特別賞を受賞しました。受賞したのは「ノンナ(おばあちゃん)を思い出す、カポナータ小松うどん」。小松産のつるつるしたうどんに、酸っぱいイタリアの伝統的な夏野菜の煮込み料理のカポナータはぴったりだと思います。しかし皆さんはうどんもカポナータも



ブラジル料理ではないと、不思議に思うことでしょう。実は、私もこのコンテストを機にブラジルの食文化について改めて考えさせられました。私はイタリア系のブラジル人で、イタリアから移民した祖先から数えて5世になります。イタリアの習慣が色濃く残る家庭で育ったため、2011年に初めてイタリアを訪れたとき、ブラジルの食よりもイタリアの食に近いことに気付きました。ブラジルはとても大きい国で、色々な民族の文化が共生しています。だから私は意識せずにふとカポナータうどんを想像(創造)してしまったのかもしれません。

小松に来てから、ベトナム人やタイ人の友達もできたので、最近東南アジアの複雑な料理にも挑戦して、新しい味を楽しんでいます。皆さんも、近くの外国人宅の台所から漂ってくる、好奇心をくすぐる香りの料理を食べてみたくなりませんか?

問い合わせ 国際都市推進課 ☎24・8039



認知症

地域で見守り、
地域で支え合うまちへ

市民後見人って?

認知症や知的障がいなどにより判断能力が不十分になった人に代わって財産の管理や介護契約などの法律行為を行うため、家庭裁判所が選任した人を成年後見人と言います。そのうち、成年後見に関する必要な知識や心構えを身につけ、親族や専門家以外の一般市民から選任された人を市民後見人と言います。

認知症の人などを地域の身近な人が支援できるよう「市民後見人」を養成する講座を開講します。

とき 11月21日(火)～12月25日(月)
(全7回)

ところ・内容 下表のとおり

定員 20人程度(先着順)

参加費 無料

申し込み 11月20日(月)までに社会福祉協議会事務局 ☎22・3354

回	開講日	時 間	テーマ	場 所
1	11月21日(火)	13:30～13:40 13:40～16:30	開講式 市民後見概論	市民センター2階 ホットルーム
2	11月28日(火)	13:30～14:00 14:00～16:30	成年後見制度の受任状況 高齢者・認知症の理解	すこやかセンター 1階 研修室
3	12月4日(月)	13:30～15:30 15:30～16:30	障がい者の理解 障がい者施策・障害者虐待防止法	
4	12月8日(金)	13:30～16:30	成年後見制度(法定後見制度と任意後見制度)・消費者保護	
5	12月11日(月)	13:30～14:30 14:30～16:00 16:00～16:30	介護保険制度 高齢者施策・高齢者虐待防止法 日常生活自立支援事業と成年後見制度	
6	12月18日(月)	13:30～14:15 14:15～15:00 15:00～16:30	生活保護制度 健康保険・年金 民法の基礎(家族法・財産法)	
7	12月25日(月)	13:30～15:30 15:30～16:00	対人援助の基礎 後期カリキュラムについて	

まずは、認知症や
各種制度について
知ってみよう!



県民公開講座

「あなたが認知症に
なったら…」

認知症は高齢者だけでなく、若い人でも発症する可能性のある病気です。「もし、自分が認知症になったら…」と自分の事として考えてみませんか。

とき 11月23日(木・祝) 14時～16時

ところ サイエンスヒルズこまつわくホール

内容 第一部・講演「あなたが認知症になったら」(講師…認知症の人と家族の会 代表理事 鈴木森夫)、第二部・認知症に関する取り組み報告(小松市、能美市、加賀市)

参加費 無料

問い合わせ やわたメディアカルセンター 地域連携部 ☎47・7522 長寿介護課 ☎24・8168

認知症に関する 問い合わせ・相談先

長寿介護課 ☎24・8168
または、各地区の高齢者総合相談センターへご相談ください。